

## 令和 2 年 4 月新年度（辞令交付式）あいさつ

みなさん、おはようございます。

今日から令和 2 年度がスタートいたしました。

ただ今、辞令交付式を行いました。昨日は一般事務職 7 名と保育士 2 名の職員が退職され、代わりに一般事務職 7 名、保育士 2 名の 9 名の新しい仲間を迎えることができました。また、丹羽参事兼振興課長には、派遣期間の特例により、本来なら 3 年のところ 1 年間延長していただき、4 年間、東栄町のためにご尽力いただき、愛知県へ戻られました。そして、新たに県より、村松君を迎え、参事として勤めていただくこととなりました。村松君は平成 25 年度から 3 年間主幹として在席していましたので、顔なじみの方もいると思いますが、どうかよろしく願いいたします。

次に医療関係ですが、県より派遣で医療センターにお勤めをいただいた鈴木先生が 3 月末で退職され、代わりに以前東栄病院の時に世話になっていました早川先生が、4 月から医療センター・副センター長として、お勤めいただくこととなりましたので、よろしく願いします。

そして、異動対象者 24 名に辞令を交付させていただきました。

新たな部署で力を発揮していただきたいと思います。

そして、地域おこし協力隊であります。福田隊員は、3年間の任期を終えて3月末で卒業となりました。主に「手作りコスメティック体験・なおり」の講師を務めていただき、3年間本当に頑張っていたと思います。卒業後も町に残って、一町民として頑張っていただけという事ですので、彼女の新たな取り組みを皆さんも応援してあげてください。もう一人の西條隊員は、昨年6月に隊員となり、町内の空き家を中心に不動産問題に取り組んでいただき、成果も上がっていますが、この5月末の1年間で卒業します。引き続き、東栄町で西條不動産として活動しますので、今後ともこの町でのご活躍を期待するとともに、しっかり応援してまいりたいと思います。まだ、2か月ありますが、よろしくお願いいたします。

また、新たに現在地域おこし協力隊の募集を行っていますが、観光まちづくり協会で1名の応募がありましたので、今後採用を予定しています。まだまだ人材が必要ですので、引き続き、地域おこし協力隊員の募集は継続して行ってまいります。

さて、昨年を振り返ってみますと統一地方選挙がスタートし、4月には、町長選挙及び町議会議員選挙が行われ、5月には平成から令和

へと新しい年号となり、新たな時代に向かって動き出しました。

選挙後であったため、今年度はあっという間の一年であったように思います。東栄町の大きな柱であります第6次東栄町総合計画（平成28年度からの10年間）により進めてきました一つ一つの取り組みも計画どおりに進めてこられたと思っています。課題はまだありますが、町の将来を見据え、今後も自信を持って、職員の皆さんと取り組みを進めてまいりますので、どうかよろしくお願いします。

特に医療問題は東栄町にとって、最も重要な課題であります。昨年4月に有床診療所となって運営をしてまいりましたが厳しい状況は変わりません。今後、我々の地域に必要とする規模で、将来に負担を残さない責任を持って継続できるものでなければいけません。しっかりと議会を含め、町民の皆さんにもご理解いただけるようあらゆる場において、説明をしてまいります。町職員の皆さんも関心を持っていただくことをお願いいたします。また、町の情報も今日からテレビでの配信となりました。全職員が常に町の情報を共有し、更なる活用に心がけてください。

まだまだ、お伝えしたいことはございますが、今年度は機会を設けて、職員の皆さんとの懇談会（意見交換）を計画させていただきたい

と思いますので、よろしくお願いします。

さて、新規採用職員の皆さんに一つだけ、お話をさせていただきます。皆さんは、東栄町役場に入られた新人でありますので、当然のことながら、失敗もあるでしょう。くよくよせず、失敗は成長のチャンスでもあります。一番大事なのは、直ぐに報告することです。早ければ傷口は浅くなり、対応の仕方次第で成長につなげることができます。失敗は隠すのではなく、積極的にオープンにする、報告する、この意識改革を持っていただくことをお願いしておきます。

そして、職場もここ数年、若い職員との入れ替えが急激に進んでおります。また、以前もお話をさせていただいたように過去の職員採用を抑制したため、職員構成にひずみが生じていることから、管理職の皆さんには職務の兼務や短期間での異動など、大変ご苦勞をおかけしています。役場の仕事は自分ひとりではできません。お互いにコミュニケーションを図り、よい職場環境をつくっていただきたいと思っております。特に先輩職員の皆様には、業務の遂行のみならず、是非とも同僚職員のワークライフバランスや、若い職員に気を配り、職員を育てることに力も注いでいただきたいと思っております。また、メンタルヘルスカケアが必要にならないように気分転嫁も図っていただきたいし、

そんな職場における人間関係ができるよう願っています。

こうしたことを踏まえ、この3月議会に町長・副町長・教育長の給与を減額する条例を可決いただきましたので、その減額した費用を当てて、本年度、外部講師を依頼して組織分析の導入を行います。心身ともに健康的に働ける職場づくりと近年の働き方改革の流れや町外からの職員の定着など、一人一人の能力と役場の組織力の向上を目指すものであります。その内容は、改めて皆さんにお伝えしたいと思いますが、一つとしては、個々の面談や相談においては、電話、メールなどにより常時対応を考えています。

最後になりますが、本年度は、冒頭にお話した東栄町の大きな柱であります第6次東栄町総合計画（平成28年度からの10年間）の中間点となり、後期5か年計画の策定の年となります。これまでの歩みを止めることなく、東栄町のまちづくりを進めてまいりますので、今年度も一年間よろしくお願い申し上げまして、あいさつとさせていただきます。

令和2年4月1日

東栄町長 村上孝治